

01

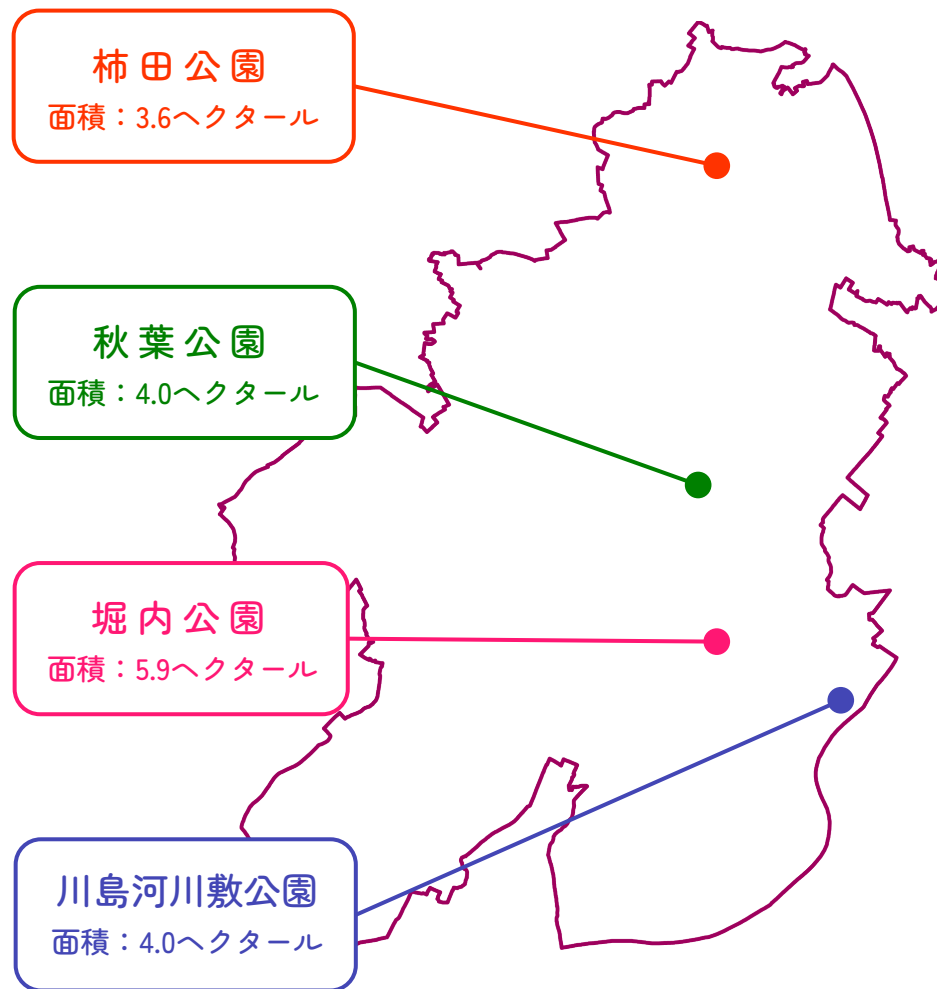
地区公園基本構想とは

地区公園ってなに？

敷地面積が4ヘクタール程度で、安城市内では比較的規模の大きい公園のことです。

安城市には、令和8年4月時点で111箇所の大小さまざまな公園・緑地があり、そのうち地区公園と呼ばれる公園は、柿田公園・秋葉公園・堀内公園・川島河川敷公園です。

本構想では、これら4つの公園を広域のレクリエーション拠点と位置づけ、周辺地域に限らず広域からも人々が訪れ、利用する場としています。



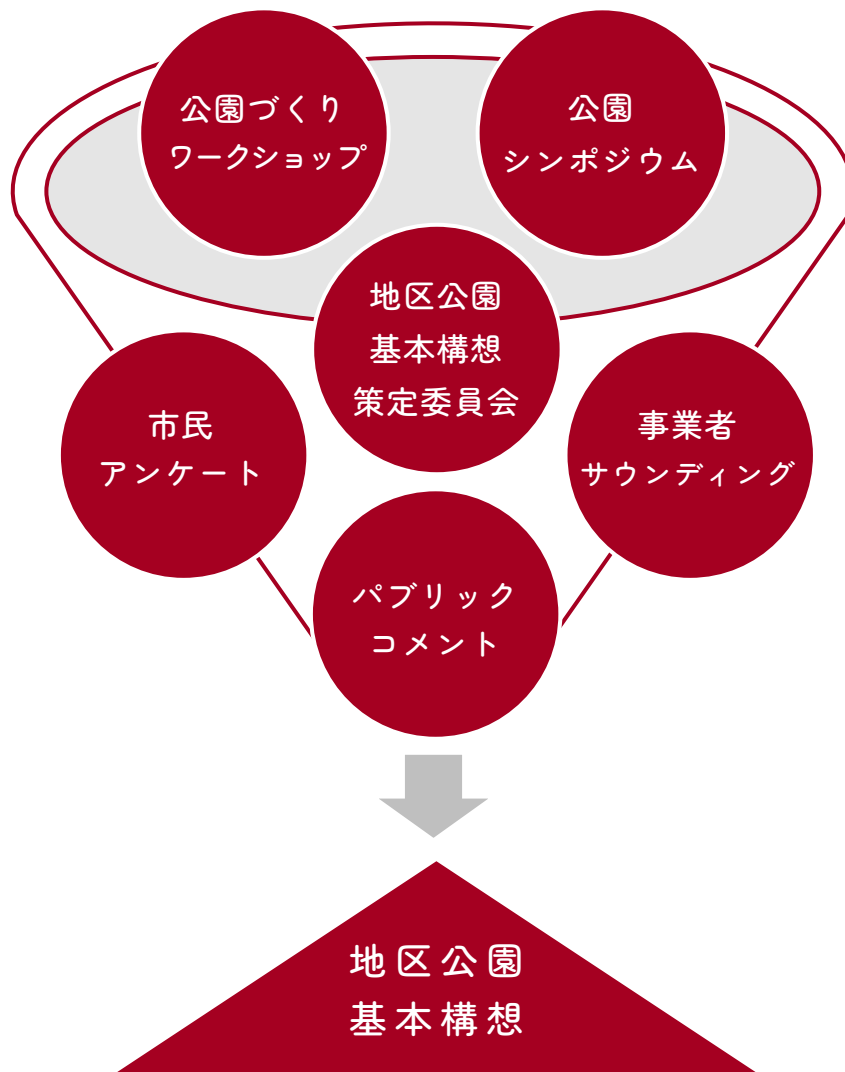
地区公園基本構想とは？

地区公園の再整備に向けて、全体のコンセプトや各地区公園の目指す姿を示すものです。

地区公園は、開園から25年以上が経過し、これまで多くの市民に親しまれてきました。今後もさらに多くの市民に利用していただけるよう、各地区公園の特徴や可能性を整理し、新たな個性と魅力を引き出すことで、より多くの人が集い、交流し、共に楽しめる居心地のよい空間づくりを目指します。

さらに、第9次安城市総合計画の目指す都市像である「ともに育み、未来をつくる しあわせ共創都市 安城」を実現するため、本構想をきっかけに公園の質や利用者の利便性を向上させる取組みを進めていきます。

本構想の策定にあたっては、右図のとおり多くの関係者の意見を取り入れながら検討を進めました。



なぜ4つの地区公園をまとめて 基本構想をつくるの？

4つの地区公園それぞれの個性をさらに伸ばし、新たな魅力を引き出すことで、各公園の特徴が際立つよう、構想をまとめてつくりました。

また、各地区公園が異なる個性と魅力を持つことで、4つの公園をひとつの大きな公園のように感じながらめぐってもらい、日替わりでいろいろな楽しみ方ができる公園となることを目指しています。

